

JICA 開発大学院連携プログラム(各大学におけるプログラム)概要

大学名	国立大学法人 山口大学
研究科名	経済学研究科 公共管理コース
プログラム概要：	本コースは、アジア、アフリカ等から留学生を受入れている。本国では行政官等のポストにある学生が多く、帰国後は、出身国の社会経済発展に貢献することが期待される。山口は明治維新胎動の地として、日本の近代化を支えた人材を多く輩出した歴史を有し、留学生にはそれらの経験と知識を学ぶことも奨励している。また、東京の中央官庁・自治体・中小企業の訪問、沖縄への研修も実施している。
「日本の開発経験に関する講義」の概要	<p>① 「International Cooperation Studies」</p> <p>講義目的：日本の ODA の経験と知識を体系的に学び、途上国の発展に役立てる。</p> <p>講義概要：日本の ODA の歴史的背景、日本の ODA のタイプと特徴、財政支援とプログラム・プロジェクト、日本の ODA 政策と改革課題、MDGs と SDGs、貧困と格差、開発のための財政、援助効果、ガバナンス、地域協力、受講生の出身国の開発課題の発表・討論、受講生によるプロジェクト提案他</p> <p>担当教員：大岩隆明教授 開講時期：秋学期 単位数：2 単位</p>
	<p>② 「Social Policy Studies」</p> <p>講義目的：日本の明治以降の社会経済発展の歴史と、SDGs に関連した社会政策の経験と知識を学び、途上国の政策立案に役立てる。</p> <p>講義概要：社会開発と社会政策の理論、日本の社会開発・政策の歴史と経験（幕末・明治維新时期から現代まで）、日本の社会政策各論 ①教育分野、②保健医療分野、③貧困削減、④ジェンダー平等、障がい者・高齢者支援、日本の ODA 政策各論 ①教育分野、②保健医療分野、③貧困削減、④ジェンダー平等、障がい者・高齢者支援、受講生による出身国の社会開発・政策の課題発表・討論他</p> <p>担当教員：富本幾文教授（特命） 開講時期：春学期 単位数：2 単位</p>
	<p>③ 「Public Administration」</p> <p>講義目的：日本の行政の発展経験と知識を学び、途上国の行政制度の発展に役立てる。</p> <p>講義概要：（以下の各項目は日本の行政改革の経験からの学びを含む。）変化の時代：行政管理から行政経営へ、政府の役割、伝統的な管理モデル、行政経営、公共政策、ガバナンス、説明責任、利害関係者と利益団体、規制・契約・公営企業、戦略的経営、人事管理と指導力、財政と成果管理、受講生による発表・討論他</p>

	<p>担当教員：西山慶司准教授 開講時期：秋学期 単位数：2 単位</p> <p>④ 「Advanced Public Administration」</p> <p>講義目的：国内外の講師を招き、日本と途上国の政治・経済・社会分野の経験と開発 課題への対処方法を学ぶ。</p> <p>講義概要：公共行政とガバナンスの重要性、JICA のガバナンス協力、日本の民主的 地方自治の発展過程（幕末長州の経験、明治維新から現代まで）、日本の中央政府と地方 政府の関係性、日本の中央政府・地方 政府の人事制度、日本の地方政府のガバナンス の課題、アジア諸国からの招聘講師による特別講演（仮題：東南アジア諸国の持続的 開発と日本の ODA、南アジア諸国の持続的開発と日本の ODA）、受講生による発表と 討論他</p> <p>担当教員：馬田哲次教授、富本幾文教授（特命） 開講時期：秋学期 単位数：2 単位</p> <p>⑤ 「Public Policy」</p> <p>講義目的：公共政策の基本的な知識と日本の公共政策を学び、途上国の発展に役立てる。</p> <p>講義概要：本授業は、受講者が十分な予備知識を持ち得ていないことを前提にして、政治学の観点から公共政策の基礎を学ぶ。前半では、公共政策の基礎概念やそのアプローチおよび日本を事例にしたいくつかの公共政策（教育、医療、福祉、交通等）を扱う。後半では受講生の出身国や地域における事例を扱い、演習形式を取り入れて発表およびディスカッションを中心にした内容で授業を進める。公共政策および政治学の基礎は、西洋的な価値観が原点となっているが、受講生の出身国や地域の文脈で捉え直すことを目指す。よって、受講生の積極的なコミットメントを求める。</p> <p>担当教員：麻田玲講師 開講時期：秋学期 単位数：2 単位</p>
<p>関連 URL</p>	<p>URL : http://www.econo.yamaguchi-u.ac.jp/page2.php</p>
<p>プログラムの 魅力紹介</p>	<p>受験者へのメッセージ：</p> <p>山口大学大学院・公共管理コースは、2002 年に外国人留学生を対象として開設され、アジア・アフリカ・大洋州諸国から多くの留学生を受入れてきました。本国では行政官や大学教員のポストにある留学生が多く、帰国後はそれぞれの組織にもどり、母国の社会経済発展に貢献しています。現在は日本人学生も共に学んでいます。</p>

	<p>公共行政・管理・経営は発展途上国にとって極めて重要なテーマであり、公共管理コースでは途上国の行政官、あるいは国際協力に携わる人にとって必須の科目が充実しています。経済学、財政学、経済統計学、経済数学、行政法、公共行政学、国際協力、プログラム評価、</p> <p>社会政策研究、産業政策、日本語など多岐に亘る科目を、理論と実務に精通した教員が担当しています。</p> <p>大学の講義に加えて、多彩な学外研修も大きな魅力になっています。東京の中央官庁・政府機関（外務省、財務省、総務省、厚生労働省、自治大学校、税務研修所、国際協力機構=JICA、ジェトロ・アジア経済研究所）などでも研修を行う他、山口県内の地方自治体（県庁・市役所）や地元企業を訪問し、実務担当者から現場の話を聞く事ができます。さらに沖縄での現地研修も実施しています。</p> <p>本コースでは、開設 10 周年記念事業として 2011 年から日本人学生の受入れも開始しました。国際協力の仕事、新興国・途上国でのビジネスなど海外で活躍したいという日本の学生・公務員・民間企業・NGO 関係者にとってもユニークな学びの場となっています。</p> <p>以上</p>
--	---